

気になる？飛蚊症 ひぶんしょう その2



こんにちは。院長の梅津由子です。

梅雨が始まりました。一般にはじめじめと不快な毎日ですが、ドライアイの皆さんには乾燥感が少し緩和される季節でしょうか？

今回は飛蚊症の2回目、その原因についてのお話です。

飛蚊症とは、硝子体という眼球の組織中に混濁が浮いているため、網膜に影ができて眼前に虫が飛んでいるように見える症状ということをお話しました。

さらに、飛蚊症にはとてつねに心配のない飛蚊症と病気の症状として起きる飛蚊症があります。今回は、心配のない飛蚊症（生理的飛蚊症）についてお話します。

原因その1 : 硝子体の正常な構造物

硝子体の内部には、眼の中の環境を維持するため、寒天と同じような透明な繊維や多少の細胞成分があり、それが光の加減で網膜に影を作ることがあります。

また、近視の人は眼球が前後に長い傾向があり、その分硝子体内部に空洞ができやすく、その空洞の縁に繊維などが集まるので、生理的飛蚊症が起きやすくなります。



原因その2 : こうぶしょうしたいはくり 後部硝子体剥離

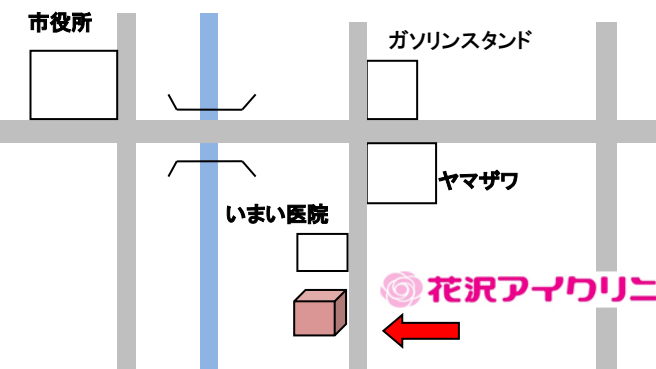
硝子体は加齢とともに少しずつ液体に変化し、しぼんでいきます。そして60歳前後になると網膜からはがれて硝子体と網膜の間に隙間ができます。これを後部硝子体剥離といいます。

後部硝子体剥離がおこると、硝子体の後ろの膜が網膜に写り、急に飛蚊症が現れます。この時、眼の中に大変なことがおこったのではないかと慌てて眼科を受診される方もいます。しかし、後部硝子体剥離は誰にでも起こる生理的な現象であり、それ自体問題ありません。時間がたつと硝子体後方の膜が眼球の前方へ移動して網膜から遠くなるので、影が薄くなって気にならなくなってきます。ただ、少数ながら網膜と硝子体が強く癒着していたり、網膜が薄い人では次回解説する網膜裂孔や、網膜剥離が起きてしまうこともあります。

ホームページ <http://www.hanazawa-eye.com>

〒992-0022 米沢市花沢町2695-1

0238 (40) 0606



受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	☺	☺	☺	☺	☺	
2:00~5:30	☺	☺		3:00 ~ 6:30	☺	☺

土曜日は昼休みなく、8:30~15:00まで初めてコンタクトをおつくりする方の受付は早めに終了します。(終了時間の1時間前)

